

## 平成25年度 第2回飯山市健康づくり推進協議会 会議録

1 日 時 平成25年9月27日（金）午後3時00分～4時50分まで

2 場 所 飯山市役所4階 第2委員会室

3 出席者

委 員 高橋智子委員、益野卓也委員、土方秀和委員、関吉暁委員、渡辺茂充委員、田中好一委員、岸田勉委員、村石幸子委員、竹内亨委員、石澤一芳委員、服部富美子委員  
（欠席：今清水弥委員）

飯山市

民生部長兼市民環境課長丸山信一、保健福祉課長常田徳子、国保年金係長小野幸司、高齢者介護保険係長丸山幸子、健康増進係長上原純一、健康増進係副主幹（保健師）田中由美子、健康増進係主査丸山博之、健康増進係主査（保健師）湯本佐知子

5 議事録（要旨）

（1）飯山市健康増進計画（第2次）策定スケジュールについて

（高橋会長）

それでは、会議事項に入ります。飯山市健康増進計画第二次策定スケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

（上原健康増進係長 説明）

（高橋会長）

今事務局の方から、前回示したスケジュールどおりに進めて行きたいとのことですが、これについて委員の方で何かご質問ある方はいらっしゃいますでしょうか。（「なし」の声）  
無いようですので、次に進みたいと思います。

（2）飯山市健康増進計画（第2次）について

（高橋会長）

それでは飯山市健康増進計画第2次について、事務局の方からお願いいたします。

（上原健康増進係長 飯山市健康増進計画（第2次）説明）

（高橋会長）

説明していただきましたが、皆さんご意見ををお願いします。

（益野委員）

歯科の部分について、特定健診から歯科検診が外れたとのことですが、歯科医師の確保が困難であるというのは、具体的には歯科医師会より医師の派遣が困難だというような話があったのでしょうか。

(湯本主査)

特定健診時の歯科検診についてですが、正確には19歳～39歳までを対象としたヤング健診に於いて歯科検診を行っていました。しかし、検診項目が増えたり会場の広さの問題等があり、また、検診を行っても、その後の受診に繋がらないというような状況がありまして、先生方と話し合いを持つ中で、一旦見直そうということで中止になり、今に至っています。

(益野委員)

そうですか。わかりました。この件に関しては歯科医師会に持ち帰り今後検討させていただきます。

(高橋会長)

それではそのように対処願います。続いて各委員よりご意見を頂いてまいります。国保運営協議会の岸田委員さんより伺いますので、よろしくお願い致します。

(岸田委員)

目標の設定をする際には、県とか国の指針や、目標値等に基づいて設定してるんですよね。

(上原係長)

基づくということはありませんが、参考にはしました。

(高橋会長)

参考にした上で、独自に考えて目標の設定をしたということですね。岸田委員さんこの件に関してはよろしいでしょうか。(「はい」の声あり)

それでは、続いて保健補導員会の村石委員さんお願い致します。

(村石委員)

保健補導員の村石と申します。保健補導員は健診のお手伝いをしていますが、受診票をお配りする際には出来るだけ、直接受診票をお渡しすることにしていきます。そのときに「なるべく忘れないように」とのお声かけ等をして受診者を増やす努力はしていますが、また何かお手伝いすることがあればさせていただきますのでお願いします。

(高橋会長)

受診票を渡してくださっているということですね。今後ご協力お願い致します。

では、スポーツ推進委員会の竹内委員さんお願いします。

(竹内委員)

私たちスポーツ推進員の役割は健康管理だと思いますが、実際にはミニスポーツの普及などが活動の中心となっています。そのため基本的には小学生を含めた若い方が対象となっています。今後市民の健康管理について、スポーツ普及の面からお手伝いしたいと思います。

(高橋会長)

ありがとうございます。続いて体協の石澤委員さんお願いします。

(石澤委員)

スポーツ推進委員会の竹内さんと同じように、この計画を推進していく中で体協として何ができるのか考えていましたが、様々なスポーツに関連する皆様と連携しながら進めたいと思います。

さて、先ほどの説明の中で66ページ67ページの目標の設定について、前回の会議で質問をした覚えがありますが、前回の表では『日常生活における歩数の増加』という項目がありまして、国の目標値が示してあり、市の目標値は『増加』だったと思います。しかし今回の表からはその項目が削除されていますが、このことについて説明していただければと思います。

(上原係長)

前回示した数字は県の健康栄養調査に基づくものですが、サンプルとして飯山市の中の集落から得た数字をそのまま「現状値」として使用していました。しかし県と同様の調査を引き続いて実施することは、今の私どもの体制では大変厳しい状況ですので、今回は特定健診の問診項目にある項目を採用しています。歩数ということではなく、身体活動運動のところの①の『日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施するもの』、この項目に差し替えました。そうしますと正確に男女別での数字も出ますし目標の設定もしやすく、また10年後においても評価できると考えます。

(石澤委員)

よくわかりました。ただ市の現状値が男性も女性も50%を割るような状況は寂しい数字かなと思いますので、今後私の方の立場としても頑張りたいと思います。

(高橋会長)

続きまして食生活改善の服部委員さんお願いします。

(服部委員)

脳血管疾患などの原因が塩分にあると言われていますが、食改としても減塩について様々な取り組みをしています。1食につき2.5g程度でも、おいしいと感じて食べられるようにするにはどのように調理すればよいのか。課題として検討しているところです。減塩の講演会とかはよくありますが、調理講習会のようなものが少ないように思います。食材本来の味を大切に、薄味でもおいしいと思える料理を皆さんに浸透できたらと思います。

(高橋会長)

実際塩分を少なくするとなんとなく食べた気がしないとか、特にこちらの方はしょっぱいの慣れてますよね。塩分を減らしてもおいしく食べられる方法を研究していただいて、実習や講演などで普及していただければと思いますが、なかなか難しいですね。

(服部委員)

塩分減らしてもおいしく感じられる食べ方ですが、うす味のものから食べていき最後にしっかり目の味のものを食べると満足感が得られます。食べ方にも色々工夫がありますが、どのように広めていけばよいのか悩んでいます。私たち飯山市の食改会員は30名しかいませんし、みなさん高齢化してきているので若い人に入っていただいて、そうした取り組みが出来たらいいかなと感じています。

(高橋会長)

市の方でも対策を考えていただければと思いますのでよろしくお願いします。続いて田中委員さんお願いします。

(田中委員)

感想として、4ページの各種検診の受診率見ると低いなと思います。特に乳がんなどは若い女性に非常に多いと聞いておりますので、受診率の向上をお願いしたいところです。また、目標達成に

向けての取り組み状況については、休日や夜間健診などを実施するなど努力していただいていると思います。

もう一点、9ページの食の部分ですが、小学生の朝食の欠食者が減少していることはありがたいことと思われました。10ページのまとめに『家族の絆を育む大切な時間である食事を個食でとる児童の割合』が6.5%、県平均の半分であったということが書かれてありますけどもこのこともうれしいことです。

(高橋会長)

がん検診少しは上がりましたが、まだまだですよ。計画全体の目標として66ページでがん検診の目標値を40%というように掲げています。この現状値を40%にあげるというのはかなり市の方で努力していただかなければならないのと、それと市だけではダメです。委員皆様方の御協力をいただかないと、がん検診の受診率向上には繋がらないと思いますので、よろしくお願いします。

それと食事については、やはり結構家族で食べられる方が多く、安心しました。今の若い方は朝食を食べないスタイルが結構多いですよ。その辺は数字をあげていかなければならないと思っております。続きまして渡辺委員さんお願い致します。

(渡辺委員)

意見の前に一点確認しますが、6ページの上から4行目に『その結果、脳血管疾患の70歳未満受診率の低下は目標を達成』と書いてありますが、3ページの表の達成状況は『B』ですので、目標には達していないのですが。

(上原係長)

申し訳ありません。この部分の表記については誤りです。『改善はしましたが、目標を達成することは出来ませんでした』に訂正します。

(渡辺委員)

精査して、ご確認いただきたいと思えます。そして食育推進計画についてですが、計画を策定していただきまして、私からも御礼申し上げます。

さて、目標設定の考え方等についてですが、『国の目標値を参考に』というのも若干曖昧になっている部分もあるので、明確に示していただく必要があると思えますのでよろしくお願いします。『目標の設定値』の考え方は、それぞれの市町村の固有の状況や、財政状況、これからの見通し等、様々な事情を踏まえて検討された結果として、このような数値になっているものと思えます。今後、市民の皆さんにわかりやすいように計画の目標値を広めて、市全体で取り組み、目標達成に向けた施策を考えていただきたいと思えます。なお、中間で見直しとのことですが、積極的に進めていただければと思います。以上です。

(高橋会長)

続いて、日赤の関吉委員お願いします。

(関吉委員)

まず、がん検診についてです。胃がんの受診率を上げるために無料のクーポン等を考えていることですが有効な策と思えます。また、乳がん検診についてもクーポンを使った新たな施策をしていただき、かなり受診率上がっているものと思えます。

次に特定健診の受診率についてですが、第5次飯山市総合計画で策定ということで目標値を設定していますが、市町村によっては人間ドックに補助を行い、ドックに併せて特定健診もと言う方法で受診率を上げていますが、市はどのように考えていますでしょうか。

(高橋会長)

無料クーポンとドックについて説明してください。

(常田課長)

大腸、乳がん、子宮に関しては国からクーポン券が出ていますが、胃がん、肺がん、前立腺について無料クーポンは出ていません。それを無料にしたら「受診率が上がるのでは」との思いがあり、現在、新年度事業で検討しているところです。そしてドックに関してもご指摘どおり、ドックを受けていただくと特定健診の受診率が上がりますので、この件に関しても検討したいと考えます。

(関吉委員)

ドックの補助率は市町村によってバラつきがあるかと思いますが、飯山は高いのでしょうか？

(丸山部長)

19市の中では、平均的より少々上位程度だと思います。新しい計画を作る中で、各検診及び特定健診等に言えることですが、受診者にとって負担は低い方が受けやすいということは事実です。そういう意味では負担金を無くすなり、人間ドックの補助額を増額することは必要なことと思われる。しかし全市民の中でその他の健康への対策や、市の財政状況を勘案しなければなりません。そして効果についても検証しなければなりません。本日、委員の皆様からご意見をいただきましたので、今後の施策策定の際に訴えていきたいと思えます。

(関吉委員)

ドックに補助があるということを知らない市民もいますので、積極的に広報にすると受診率も上がるのではないかと思います

(上原係長)

ちなみに今年から特定健診の受診料は無料としました。それにより大幅な受診率のアップを図れるかと思いましたが、現実には厳しく数パーセントの上昇に留まりそうです。ただ、健診の会計の際に昨年の受診料1500円を支払おうとする方も相当数いましたので、次年度に向けて『特定健診無償』の広報を積極的に行わなければならないと考えます。

(高橋会長)

みなさんにPRというか、よくわかるように広報していただくことが大事ですね。続きまして、薬剤師会をお願いします。

(土方委員)

全体的に見させていただきましたが、薬剤師がこの計画に関わることはあまりないように思えますが、ただ、学校には学校薬剤師がおります。養護の先生方と一緒に様々なことをおこなっており、僕も下高井農林高校では薬物乱用ということ絡めて喫煙の話等をしています。そのようなことで薬剤師を知ってもらえればと思います。

また、私事ですがPTAの役員をしていた時に、中野の給食センターを見学に行きました。そこで食育に繋がっていくのですが、給食センターではどういう考えで作られているのかと言うことを、作る側の親にもう少し理解してもらいたいと思いました。

それと66ページの目標の設定についてですが、この数字については、様々な考え方で市の方も出してきました。設定については、最低限の数値としてとらえて、それを超えても問題ないと言うようにとらえていけば、プラスαというような考え方で多少他の市と違っていても特に問題ないと思えます。ひとつの意見としてよろしくおねがいします。

(高橋会長)

私からひとつ質問ですが、26ページの子宮頸がんワクチンの件でも言えることですが、国の方針がこれからどんどん変わっていくと思います。そこでこの計画についても一応10年の目標を策定しますが、情勢の変化に対しどの様に市は対応していられるのかなと思いました。先ほどのご意見にも、10年間は長いのでずっとこれがそのまま目標としてやっていけるかどうか。その辺が心配かなと思いました。

(常田課長)

一応5年後に見直したいと考えています。

(益野委員)

質問よろしいでしょうか。11ページの『歯周疾患のある人の減少』について男が47.4%で女が49.0%ですが、僕の認識している数字からはかけ離れています。今現在日本国民の30歳以上の人の歯周病の罹患率というのは85%を越えています。歯科検診は歯に自信を持っている方がそれを誇示するかの様に受けに来られる場合が多いです。歯に不安を持たれている方や高齢者の中には、私は我慢すればいいのだと考え、少々我慢すれば物は食べられると意識されるが多いです。栄村も高齢者率がすごく高いので、このデータを真に受けるのは危険と感じています。日本歯周病学会では、今正確なデータを集めているところですが、このような低い数字ではないことは確かです。

そして歯周病菌が様々な病気を引き起こすこともわかってきました。歯医者で歯石を取ったあと20分後に採血したら、口腔内細菌が血液から採取されたとの報告もありますので、口腔の細菌は危険性が高いということをもう少し認識していただいた方がよろしいかと思います。今までのような「虫歯はありませんか、歯槽膿漏はありませんか」のアプローチから少し方向を変えて、住民の方にアプローチされた方がよいのではないかと個人的には思います。

(常田課長)

研究させていただきながら、事業を進めたいと思います。

(高橋会長)

委員さんよりひとつおりのご意見をいただきましたが、市の方から何かありますか。飯山市健康増進計画についてはもう1回協議会を開催することで、よろしかったですね。

(丸山部長)

全体を通して何か言い忘れたとかあるようでしたら、お願いします。

(常田課長)

それでは14ページの『計画全体の目標』、こちらに指標1～3までありますが、そこをもう1度皆さんに確認していただければと思います。

(上原係長)

指標1の目標設定の考え方について説明します。説明書きでは『国の健康寿命2年程度の延伸』とありますが、これは健康フロンティア計画で示された数字です。しかしその後の情勢の変化により、見直しや新たな計画が策定されており、平成24年7月に策定された健康日本21第2次では、『平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加』とされています。しかし市としては、飯山市の現状を鑑み2年程度は伸ばしたいとの思いがあり、このような表記になりました。誤解を招く部分もありますので、訂正し次回に諮りたいと思います。

(渡辺委員)

指標2のがん検診の『目標設定の考え方』についても、国は40%と50%に分かれていますが、この表記では40%のみですので修正をお願いします。

(常田課長)

ご指摘の通りですので、指標2の『目標設定の考え方』についてはそのように修正します。しかし目標値については、飯山市は子宮がん、乳がんを他のがんと区別せずに40%にしたいと思いますので、委員の皆様にお諮りします。

(高橋会長)

指標2について、目標値は40%でよろしいでしょうか。(「異議なし」の声)  
ありがとうございました。それではその他ご意見ある方いらっしゃいますか。(「なし」の声)  
いらっしゃらないようですので、飯山市健康増進計画第2次については以上とします。  
次回会議について、事務局よりお願いします。

### (3) 次回会議について

(高橋会長)

今回の会議及び(4)その他について事務局よりお願いします。

(常田課長)

会長及び委員の皆様さん長時間にわたるご審議ありがとうございました。今回皆様よりいただいた御意見を参考に修正等を行い、より良い計画にしたいと思います。これからパブリックコメントを得る手続きに入り、ご意見をいただく段取りをしていきたいと思っています。

今回の会議では今回のご意見に基づき修正等しながら、再度提案をさせていただきます。次回の日程については、事前に会長さんと相談させていただいた結果、11月21日木曜日14時30分からお願いしたいと思います。なお、できればこれからダイジェスト版の作成も進めますので、その確認等もできたらと思います。

(高橋会長)

今回は11月21日午後2時30分から市役所で行います。その他何かありましたらお願いします。

(常田保健福祉課長)

事務局からはありません。

(高橋会長)

ありがとうございました。以上で本日の案件についてすべて終了しましたので、事務局にお返しします。